

会議録

名 称	令和元年度第1回岸和田市地域公共交通協議会バリアフリー基本構想分科会									
開催日時 及び場所	令和元年11月1日（金）午後2時30分～午後4時30分 岸和田市立福祉総合センター 3階大会議室									
出席者 委員26名 うち 出席20名 代理4名	日野	西村(寿)	長谷川	西河	山田	日下	松下	中野	梅澤	芥子
	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	原(利)	勝藤	岸	奥野	原(博)	石田	古石	西村(和)	安野	羽室
	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	石崎	葛迫	伊勢	後藤	鈴木	梶川				
	○	○	×	○	○	○				
	<p>オブザーバー 大阪府住宅まちづくり部建築指導室建築企画課福祉のまちづくりグループ 西山主査（代理・岩田専門員）</p> <p>事務局（まちづくり推進部市街地整備課） 実森課長、森下交通政策担当長、本田主査、北出</p>									
傍聴者	0名									
<p><<概要>> ■案件 ① 全体事業計画と令和元年度分科会スケジュール ② 岸和田市交通まちづくりアクションプラン（基本計画編） ③ 岸和田市交通まちづくりアクションプラン（バリアフリー基本構想編 検討資料） ④ 東岸和田駅周辺地区</p>										
<p><<内容>> ■岸和田市地域公共交通協議会バリアフリー基本構想分科会の会議録について （会長） 会長より本日の会議録署名人として西村寿員委員を指名</p>										
<p>案件 ①全体事業計画と令和元年度分科会スケジュール （事務局） 資料3を用いて説明</p> <p style="text-align: center;">～委員からの質問～</p> <p>（委員） 資料3-3においてパブリックコメントは地区ごとの実施となるのか。 （事務局） 令和元年度～2年度に分科会を通じて東岸和田駅周辺地区と春木駅・久米田駅周辺地区の素案をまとめ、令和3年度にパブリックコメントを実施する予定。南海本線岸和田駅周辺は現時点では令和3年度に素案をまとめ、令和4年度に実施と考えている。 （委員） JR西日本では今後、無人駅を増やしてみどりの窓口を減らすという情報を聞いたが、障害者にとってそれは非常に影響が大きいことである。今後の予定について知りたい。 （委員） 無人駅やみどりの窓口に関する業務を管轄している部署に、本日そういったご意見があったと伝えておく。 （会長） 他にご質問等が無いようであれば①全体事業計画と令和元年度分科会スケジュールについては終えたい。</p>										
<p>②岸和田市交通まちづくりアクションプラン（基本計画編） （事務局） 資料4を用いて説明</p>										

～委員からの質問～

- (会長) 基本計画編については、岸和田市が将来のまちづくりに向けた交通の理念を持ち、それを実現すべく努力しているという内容であった。
ご質問等が無いようであれば、②岸和田市交通まちづくりアクションプラン（基本計画編）については終えたい。

③岸和田市交通まちづくりアクションプラン（バリアフリー基本構想編 検討資料）

- (事務局) 資料5を用いて説明

～委員からの質問～

- (委員) 資料において、情報発信に関する取り組みがとても少ないように思われる。耳の聴こえない者や高齢者は情報が足りないととても困る。情報発信に関する取り組み強化を是非ともお願いしたい。
- (委員) 南海電気鉄道株式会社では、高架駅や無人駅についてはバリアフリー構内図を整備するように進めている。現在、全100駅の整備ができるように目指している。
路面については、増加しているインバウンド対応としても、床面などへの多言語表示を増やしている。また今年度から、鉄道事業者同士の駅舎を繋ぐ連絡通路の案内サイン表示の設置を進めている。
- (委員) 私は弱視なのだが、南海電鉄岸和田駅の改札を入ったところの案内について、目線のあたりが一番見やすく、それより上は見にくい。もちろん、わからなかったら尋ねることが多いが、弱視の方が初めて来られたらわからない場合が多いと思われる。若い方は聞くのが恥ずかしいというケースもあるので、できるだけ1.5m程度の高さに黒色での表示があればありがたい。黄色は見えにくいので避けていただきたい。
- (委員) 吊り下げ式の表示は安全上、2.3m以上の高さを確保する必要があり、現在は維持管理面も考慮し自立式のものへの取り換えを進めている。
- (委員) 自立式の時刻表は確認し易いので有難い。
- (会長) 心のバリアフリーについて、学校や高齢者の集まりにおいて、障害のある方とのコミュニケーションについて学習する機会を持てるようなメニューがあればと考える。
特定経路については、誰もが「人にやさしく ふれあいがあり」という観点をもち進めていく。また、特定経路として対応できないような経路を追加したいことがあれば、準特定経路といった対応方法もあるかと考える。
他にご質問等が無いようであれば③岸和田市交通まちづくりアクションプラン（バリアフリー基本構想編 検討資料）については終えたい。

④東岸和田駅周辺地区

- (事務局) 資料6を用いて説明

～委員からの質問～

- (会長) 資料6-3 重点整備地区図は現時点の候補という位置付けか。
- (事務局) その通りである。分科会でのご意見を参考にし、各管理者と綿密な協議のうえ、最終の素案としてまとめたい。
- (会長) 様々な課題があるかと思われるが、分科会にて改善策を打ち出せるように意見を出し合っていたきたい。ご意見があれば本日に限らず事務局まで連絡されたい。
また、資料6-4 現地点検ワークショップ（東岸和田駅周辺地区）に関しても意見等があれば、委員各位には、事前に事務局に連絡されたい。あらかじめ対応可能なこともあるかと思われるので、場合によっては事務局に対応を考えていただきたい。
- (委員) 以前、東岸和田駅の高架化にあたりホームドアの設置要望を提出したが、東岸和田駅は停車する車両のドアの位置が様々になるので難しいという回答だった。それについて詳しくお聞かせいただきたい。
- (委員) ホームドアの設置については、国の基準に沿った優先順位があり、乗降人員の多い駅から設置している。本日、その東岸和田駅の位置づけについては回答しかねる。

(委員)	風雨によりホームの路面が濡れることで、杖をついている方などは滑って転んでしまうかもしれない。また、通過列車の風圧も同様に危険である。ワイヤ式のホームドア等を設置するといった工夫により危険防止対策に取り組んでいただきたい。東岸和田駅は岸和田支援学校の生徒の乗り降りもあるので、是非ともお願いしたい。
(委員)	高齢者は足や手、腰等不自由な箇所が様々である。また近年は自動車運転事故や運転免許の返納といったことが取り上げられている。今後高齢者が、自動車がなくても便利だと思えるような施策についてはどう考えられているのか。
(事務局)	それに関しては、公共交通の内容に当たるかと考える。策定済みである「交通まちづくりアクションプラン 公共交通編」で、市内に交通不便地をつくらぬようなモビリティの整備を提示した。
(委員)	資料6-2において、駅のプラットホームに「電車接近の音声案内あり」とあるが、文字での電光掲示板の設置もお願いしたい。
(委員)	南海電鉄では現在、列車接近や通過の表示だけだった案内板を、発車時刻等も包括した総合案内板に取り換えているところである。
(委員)	JR も同様である。
(会長)	案内板については、平常時はもちろん、災害時にも対応できるようなものがあればなおよいと考える。 他にご質問等が無いようであれば④東岸和田駅周辺地区については終えたい。

⑤その他	
(事務局)	会長からも同じ話があったが、ご意見があれば本日に限らず事務局まで連絡されたい。今後の作業については、頂いたご意見を踏まえ「バリアフリー基本構想策定」についても引き続き必要な手続きを進めて参りたい。 次回の分科会は令和2年1月～2月に現地点検ワークショップを実施したいと考えている。日程が決まり次第、ご連絡するので、宜しくお願いしたい。
(会長)	以上をもって、令和元年度第1回 岸和田市地域公共交通協議会バリアフリー基本構想分科会を閉会とする。

岸和田市地域公共交通協議会会議運営規程第5条の規定により

令和元年度第1回岸和田市地域公共交通協議会バリアフリー基本構想分科会の会議録をここに署名する。

議 長 署 名

会議録署名人 署 名